

おおあさひ支部報

古河の歴史を堪能

支部役員研修会

筑波の峰を仰ぎながら、支部公民館地域事業の歴史出前講座が、11月13日大旭支部役員研修会と兼ねて、古河市の史跡めぐりが開催されました。

笠間市社会福祉協議会を出発し、風景はすっかり、秋色となり、緑と紅葉の見事なコントラストで一行を出迎えた中、菅原毅支部長は「今日は歴史の中で、なぜ古河が重要だったのかを学び堪能してい



南先生(右から2人目)の説明を受ける参加者たち

ただきたい」とあいさつ。講師として参加した南秀利先生が、なぜ古河が重要視されたのか、それは江戸・日本橋から日光東照宮まで21宿、9番目の宿として古河があり、慶長5年(1600)天下統一を成し遂げた徳川家康が、奥州の抑えとしてこの日光街道を重視したことに起源を持つなど、視察予定の史跡を説明されました。

古河歴史博物館では、オルガンの楽器ストーリーリットオルガンで異国の音色を楽しみ、貴重な蘭学資料や古河の歴史を概観、江戸家老鷺見泉石の武家屋敷(鷺見泉石記念館)、永井寺は黄金埋蔵伝説があり、長谷観音は日本3大観音として親しまれている。正定寺には古河藩主歴代の墓があり、永井路子(直木賞受賞の歴史小説家)は、旧宅は江戸時代末期に建てられたもので、2階建て土蔵造りの建物を視察、古河の史跡めぐりは、歴史を学べる機会となり、参加者は充実した一日を過ごして帰路につきました。

福島復興の現状 にじの会研修視察

10月14日、研修参加者は、東日本大震災被災地の福島県の小名浜と、久之浜に向かった。10時30分頃、被災地の小名浜に到着した。この地は、震災の時に津波に襲われ、大きな被害を受けたところである。現在は復興し、整備されたお魚市場として、休日などには、多くの観光客が訪れ、賑わいをみせている。

小名浜からバスで移動して、久之浜の「浜風商店街」に到着した。ここでは、震災当時から現在に至るまでの話を「語り部」の方がくわしく説明してくれた。話によると、地震が起きて津波がくるまで、約40分の間に久之浜小学校では、校長先生の判断で、児童を帰さず裏の高台に避難させ、児童・職員全員が難を逃れたそうである。地震や津波によって壊れた商店街は、形の上では復旧し

たように見えるが、まだ以前の活気は取り戻していないのではと感じた。海岸の方では、現在も防潮堤をかさ上げする工事が行われていた。工事の進み具合からして、完成するまでには、期間がかかりそうであった。また、事故を起こした福島原発からの放射能の影響で、今も海での操業ができない様子であった。



にじの会研修旅行

笠間市民の我々も、震災や放射能に対する負の記憶がここ深く刻まれているが、ここ福島では、物理的にも精神的にも震災が続いていると実感し、1日も早い復興を願って久之浜を後にした。

地区三世代 交流会

大旭支部では、毎年各地区で開催される三世代交流事業に、助成を行っています。

昔遊びと触れ合う

二小児童が元気に体験

秋色に染まった校庭には、落葉が舞い元気に児童の明るい声が響き渡る、11月7日「三世代のふれあいのつどい」が、友部第二小学校の校舎や体育館、グラウンドを会場に全校児童や父兄、大旭支部関係者など約900人が集まって開かれ、児童の保原悠斗君（5年生）のはじめの言葉で開始されました。

森田正男校長、菅野光一PTA会長、菅原毅社会福祉協議会大旭支部長が「友二小は地域に愛されている学校です。いろいろな人と接してお話をして勉強してください。そして、体験させていたただく日です。伝統文化と遊びを心にきざみ、大いに楽しんでください」とあいさつ。

高橋水輝君・齋藤亮磨君（5年生）が催しものの案内、その後、教室や体育館、屋外に分かれ、ボランテアや支部役員らによって竹馬・めんこ・ベーゴマ・紙ひこうき・どんぐりごま・おりがみ・けんだま・はねつきなど21種類の遊びやゲームが準備されており、各会場ではボランテアのみなさんから伝統の遊び方を学び、はじめて体験する遊びに四苦八苦しながらも、子どもたちは熱心に取り組み、お父さんお母さんと一緒に楽しんでいました。

おわりのつどいでは、谷中雅隆君（6年生）から感謝のお礼の言葉が述べられ、保原悠斗君・斎藤真未さん（6年生）から大旭支部に花束が贈呈され、斉藤真未さんの終わりの言葉で終了しました。



不慣れな竹馬に挑戦する児童

豆つかみで高得点

旭平二区

11月3日（火）文化の日、旭崎新農村集落センターで旭平2区の三世代交流会が開かれました。

小島雄二区長の開会のあいさつに続いて、来賓の紹介があり、山口伸樹笠間市長を囲んで写真の撮影が行われました。

開会式に続いて、丹精込めて育てられた菊の品評会が行なわれ、どの作品も優秀つげがたいものでした。

ゲームでは、紙ひこうき飛ばし・パターゴルフ・輪投げ・豆つかみ・〇×クイズ等が行われ、大盛況でした。

紙ひこうき飛ばしでは、作り方や飛ばし方が上手な人の場合、広場の柵を越え、畑の方まで飛んで行くものもありました。

また、豆つかみ（大豆を箸で皿から皿へ移すゲーム）では、小学生が、1分間に81個で最高得点でした。

ゲームも一段落すると、昼



人気の輪投げコーナー

食の時間となり、女性部の方が心を込めてつくられたカレーライスを、おいしくいただいております。

釜炊きご飯で懇親

旭台団地

晩秋の気配漂う11月29日に

旭台団地で、三世代交流会が開催され、192人のつどいの場となりました。

開会式では、井川留雄実行委員長と、菅原毅大旭支部長から「皆さんの力で地域のきずなを深め、楽しい時間として下さい」と、あいさつがありました。

防犯の部は、笠間警察署生活安全課長の二七電話詐欺防



みんなで乗車体験

止対策・同交通課長から、交通安全確保の講話を受けて、認識がより高まりました。また、子ども向けの白バイ体験乗車もできました。交流の場は、親子の紙飛行機と水ヨウヨウ作りや、お年寄りに教えてもらいながら、輪投げをして楽しみました。飛行距離を競った紙飛行機飛ばしは、その差もわずかで緊張感が伝わってきました。調理コーナーは、はんごうと釜のご飯たきと、野菜たっぷりの芋煮が作られ、良い匂いが一面に漂っていました。昼食は、卵かけのたき立てご飯と芋煮を食べながら、懇談に花が咲きました。

体験とふれあいと

旭 台

秋の深まりも濃い11月8日

に、旭台地区（小泉秀夫区長）主催のふれあいの集いが、旭台公民館で開催されました。参加者は、100人に迫る大勢の方々でした。

始めに、小泉区長ならびに小野武大旭副支部長から「皆さんの力で、地域の和とふれ

あいを広げ、楽しい日にして下さい」と、あいさつがありました。

恒例となった、子ども達による屋外での販売実演では、大根・キャベツ・みかん・りんご等が、整然と並べられ、食料品の大切さ、完売の喜びを体験する事ができました。ほどなく出来上がった杵つき餅は、あんどきな粉のパックにつめられて販売されました。



みんなでパックづめ

また、室内ではおもちゃの手作りコーナーが開かれて、50人を超える子ども達とお父さん・お母さん方で「ぶんぶん丸」作りに挑戦しました。

ぶんぶん丸

取り・祝い餅の臼と杵洗浄には必ずお湯を使うことなど。

知恵と経験の数々が、次世代に継承される場面がたくさんあり、心に残る情景でした。

懇親会では、小野武区長と菅原毅大旭支部長から「皆さんの協力のおかげで地域の和が

広がり、楽しい時間となりました」とあいさつがありました。

これに続く会食は、お母さん方の腕自慢の味に仕上げられたあんど餅やから味餅・鉄板の焼きソバなどを頂いた後に、子ども会が主役のビンゴゲームにより散会となりました。

知恵と経験を継承
旭 崎 一 区

11月15日、旭崎

新農村集落センターで三世代交流秋祭りが開催されて、約100人による集いの場となりました。

当日は雨天の中

の開始でした

が、時間の経過とともに天候も回復し、準備作業・行事とも手際良く進められました。庭には、ブルーシートでおおわれた即席の屋根付き作業場が作られ、餅つき作業と焼きソバの調理場となりました。



じょうずにつけたよ

台風の接近する中で！

女性部研修

台風17号と18号の接近する9月10日、友部社会福祉会館内で渡辺米子部長以下17人の会員が参加して、調理講習会が開催されました。

渡辺部長による開会あいさつでは「豪雨の中、皆さんの協力で開催できました」と、感謝の言葉がありました。

実習に先立ち、小澤美智子

先生（管理栄養士）から「高齢者の食事学配食弁当のつくりかた」をテーマに、食中毒の防止を目的とした衛生管理と大量調理の注意点ならびに、食欲をそそる調理法などの創意・工夫にあふれた、講

お楽しみみの昼食は、あんど餅やきな粉餅とけんちん汁のそばとうどんに、参加者全員が舌鼓を打ちました。この日のふれあいは、なかなか笑顔で散会となりました。

義がありました。調理実習では4班に分かれて、油の使用をひかえた焼き春巻き（主菜）とキノコご飯に中華サラダなど、高齢者の健康管理に心がけられた、料理の数々が出来上がりました。

試食に先立ち、各班の方から「高齢者の笑顔を、楽しみにしています。春巻きの調理法が、勉強になった！」などの、感想や意見が活発に交わされていました。

支部活動の中核を支える皆さん方の、真剣なやり取りが大変印象的でした。



調理法を学んだ皆さん方

祝敬老会

豊富な経験と知識で

友部第二小学校区

すっかり秋めいて、落ち葉がグラウンドを彩る10月11日、友部第二小学校体育館で敬老祝賀会が開催され、11人の米寿を迎えた方々を含む、招待者121人が出席して行われました。

青木清実行委員長が「今年は支部25区の内17区の皆さんが参加され、元気なお姿を拝見できて嬉しく思います」とあいさつ、山口伸樹市長も「皆様と一緒に長寿をお祝いできることを嬉しく思います。人生経験が豊富で、知識が豊かな方々が、戦後の節目として、地域社会を作っていた皆さまを励ました」と祝辞を述べ参加者を励ました。村上典男、常井洋一県議会議員、石松俊雄市議会議員もお祝いに駆けつけ

参加者を激励しました。

アトラクションとして、アロハウクレレ・カサマによる演奏とフラダンス、参加者全員で合唱が披露されるなどして、なつかしい思い出に浸りました。

また、友部第二小音楽隊による演奏と作文が披露、藤井彩さん(6年)、栗野楓さん(6年)の司会で進行され、参加者一人一人に児童から手作りのものがプレゼントされ、思いがけないプレゼントに大喜び、6年生によりハンドベルの演奏、福田愛友さん(6年)が作文を発表、吹奏楽演奏と歌や踊りに、アンコールもありお年寄り達は楽しいひとときを過ごしました。



二小音楽隊の演奏を楽しむ

孫と一緒に楽しいゲーム

9月21日、旭崎区新農村集落センターで、敬老祝賀会が行われました。

小島雄二区長より、主催者あいさつがあり、続いて子ども会の皆さんもいっしょに、合唱や花いちもんめの他、紅白玉入れ等のゲームがあり参加者一同、童心に返ってなかなか時間を過ごされました。

紅白玉入れでは、高齢者と孫たちが楽しんで行えるようにと、床の上に置かれた籠に向かって、少し離れたところから玉を投げ入れるといった、心温まる工夫でした。

記念講話として、南秀利先生(笠間市歴史研究員)による笠間市の鎌倉時代から近代までの歴史について、準備された資料に基づき、お話がありました。

昼食を挟んで、午後からはビンゴゲームが行われました。乱数器から送り出される

数字に従って、全員がカードにチェックを入れながら、ビンゴになるのを待ちわび、展開するゲームを楽しまれました。



みんなに祝福されて

地域の発展は地域の手で 住みよく安全安心な団地へ

旭台団地

午前10時から式典が始まり、青木隆区長(2区)の司会で進行され、青木清区長(4区)実行副委員長が開会の言葉を宣言、井川留雄区長(3区)実行委員長が「この敬老祝賀会も年々参加者が増えており、地域の方々が、役員の皆さんと手を携えて、この団地を住みよく安全安心にするために、一層努力してまいります」と主催



なつかしい叙情歌で楽しい一日

者あいさつ。参加者の高橋歌子さんに、米寿の記念品が贈呈されました。山口伸樹笠間市長からの祝辞が披露され、立原広志区長(1区)が閉会の言葉を述べて式典が終了した。

アトラクションでは、筑波松風さんによる正調ガマの油売り口上が披露、熱のこもった口上に会場は一喜一憂の盛り上がり、続いては、吉田正次(民生・児童委員)さんのハーモニカと久野進さんのギター演奏は、童謡から懐メロ、叙情歌など幅広く演奏され、久野さんのリードで一緒に歌いながら、楽しいひとときを過ごし、来年の再会を楽しみに散会しました。



お元気な皆さん方

児童からお祝いの金メダル

旭崎一区

9月13日、旭崎新農村集落センターで敬老祝賀会が開かれて、29人(対象者数31人)のお客さまが出席されました。

式典では、小野武区長の主催者あいさつがあり、祝辞とともに健康寿命を保つために大切な食事・運動・社会参加について話がありました。また、山口伸樹笠間市長を始め多くの方々から戴いた祝辞と祝電のご披露のちに、記念品の贈呈がありました。このなかで、子ども会による手作

りの金メダルと手紙が贈られて、会場内は大変なごやかな雰囲気につつまれました。

この後のアトラクションに移る時間を利用して、ご婦人方による抹茶のお点前を、頂戴しました。

アトラクションは、社協ボランティア野菊の会の皆さんによる、おめでたい舞踊とひよつとこ踊りが披露され、続く演目は、ハワイアンバンド「マハロウクレレ」の皆さんによるウクレレ演奏と、フラダンスが軽やかに、そして華やかに、披露されました。

恒例の会食は、心のこもった手作りお膳を頂きました。すべてに手作りの祝賀会は、盛況のうちに散会となりました。

住民全員参加で

若狭山団地

10月25日、若狭山団地公民館で、第39回団地祭が行われました。このお祭は、自治会員全員(3世代)が参加して行われるもので、午後



三世代がそろって参加

からは、敬老祝賀会が住民全員参加で行われました。

午前の部では、お神輿の前で団地住民の健康と安全を祈願するお祓いがあり、その後、お神輿を担いで団地内を一巡しました。

レクリエーションでは、班別対抗の輪投げ・グラウンドゴルフ・紅白玉入れ・ボーリング等のゲームが行われました。

グラウンドゴルフでは、競技をする場所がかまぼこ形な

ので、なかなか的中に入らず、苦労する姿が見受けられました。

午後の部では、公民館の中で敬老祝賀会が行われ、橋本昌茨城県知事、山口伸樹笠間市長他4人の国会議員・県議会議員の祝辞が紹介されました。

この後、敬老対象者に笠間市より、記念品が一人一人に手渡されました。

会食にはいると、テーブルに並べられた色とりどりのごちそうを食べたり、飲み物をいただいたながら、お互いに近況を語ったり、昔話に思いを馳せたりして、語らいに熱がこもりました。

最後に、お楽しみのビンゴゲームにはいり、ジュニア2人組による進行で、次々と乱数器から送り出される数字と手元のカードを見比べながら、ゲームを楽しまれ、早くビンゴになった順に、すてきな景品をゲットされました。

午後3時には閉会となり、好天に恵まれた団地祭でした。

24時間テレビで女性部出店

第19回チャリティサマー

フェスタ2015INともべ(日本テレビ・24時間テレビ)が、8月23日、笠間市社会福祉会館前で開かれ、大旭支部(菅原毅支部長)の女性部(渡辺米子部長)は、支部事業の推進として、今年もバザーを出店し、多くの買い物客で盛況となりました。

バザーへの出品物は、地域の方々からの協力を呼びかけしており、家庭で不要となったもの(衣類、タオル類、ガラス類、セトモノ類)で汚れていないもの、また、使用できるものが販売されました。

なお、支部としてサマーフェスタには毎年参加しており、バザーの売上金は社会福祉協議会を通して、24時間テレビへ寄付しております。





青空のもと技を競う

大旭支部グラウンドゴルフ大会

11月21日(土)、友二小グラウンドで社協大旭支部主催の、グラウンドゴルフ大会が8団体・89名の参加で開かれました。

菅原毅大旭支部長より、主催者あいさつがあり、続いて来賓として山口伸樹市長、小池和夫社協次長、関操健康推進員の紹介がありました。

試合開始に先立ち、市長による始球式が行われ、遠く離れたのにみごとホールインワンし、参加者から称賛の拍手がおくられました。

試合会場はAコートとB



競技の後のカレーライス

コートが準備され、それぞれに8ホールが設置されていて、参加者は約5人1組で配置につき、合図と同時に一斉に試合が開始されました。

試合中は、スティックで球を打つ音があちこちでカーン、カーンと軽快に響きわたり、心地よく感じられました。

また、全コースを参加者が同時に回るので、球の動きが複雑に錯綜し、熱のこもった戦いとなりました。

試合が終わると集計に入り、順位が発表され表彰と賞品の贈呈が行われました。

上位10人の記念写真を撮った後、閉会式が行われ、主催者を代表して、支部長より感謝の言葉が述べられました。

大会終了後、大旭支部女性部の皆さんによる、カレーライスのご馳走がふるまわれ、たいへん美味しかったです。



10位までの入賞者

優勝 佐々木邦夫氏
(ときわ会)

準優勝 佐竹しず子氏
(旭崎新生会)

第3位 向山 保氏
(ときわ会)

第4位 丸山 とし氏
(旭台睦会)

第5位 伊王野資武氏
(ときわ会)

第6位 山田 保治氏
(旭平ひので会)

第7位 五月女 稔氏
(ときわ会)

第8位 島内 正彦氏
(若狭山)

第9位 兼子 甲氏
(ときわ会)

第10位 大森 辰夫氏
(三友会)

在宅介護者 ふれあいサロン



助言者の紹介

急な冷え込みの訪れた11月28日(土) 旭崎新農村集落センターで、在宅介護に関する懇談会が、開催されました。

開会にあたり、菅原毅社協大旭支部長から「在宅介護者の厳しい実情に関し、率直な話を伺い、専門家から助言を頂きたい」とあいさつ。

多忙のなか出席の、糸谷明子笠間市包括支援センター保健師、小池和夫笠間市社会福祉協議会次長を、小野武副支部長から紹介ののちに、在宅介護者の方々と、民生委員、社協大旭支部役員の自己紹介がありました。

情報交換の導入として、糸谷保健師から、介護の実態について講話がありました。

つぎに、在宅介護者の方々から、介護の実情や悩みなどについて発表を受けました。これをもとに、各出席者がそれぞれの立場から「制度の活用や、困りごと相談例」などについて、熱心な話し合いののちに散会となりました。ご多用のなか出席されました、介護者の方々のご健康とご多幸をお祈りいたします。

あとがき

太陽子ども会が、県大会でベスト8の好成績

友部地区の子ども会育成連合会主催ドッジボール球技大会で優勝した太陽子ども会チームは、8月の笠間市大会を勝ちあげました。9月の茨城県大会でベスト8の、好成績をおさめました。大変おめでとうございます。今回は紙面の都合で掲載に至りませんでした。その活躍ぶりを次号で紹介します。